

Profile

生年月日 ● 1997年11月6日
身長/体重 ● 173cm/64kg
出身 ● 野洲市
所属 ● ガンバ大阪
ポジション ● ミッドフィールダー

5歳の頃に友達の影響でサッカーを始め、「野洲JFC」「SAGAWA SHIGA FC」「FC湖東」「津東高校」「関西学院大学」で競技を続けてきた。2019年6月に「ガンバ大阪」への加入が内定。同年7月「夏ユニバーシアードサッカー競技(ナポリ大会)」で全試合に出場し、日本代表の優勝に貢献。同年9月、JFA特別指定選手に認定され、ガンバ大阪に選手登録。プロチームでの練習経験を生かし、「第97回関西学生サッカーリーグ」で2位、「第68回全日本大学サッカー選手権(インカレ)」でベスト4の成績を残す。2020年春に大学を卒業し、ガンバ大阪に正式に入団。背番号29。

地元のフットボールクラブから滋賀県高校サッカーの強豪・草津東高校へ進んだ山本悠樹選手。3年生の時にはインターハイで優秀選手に選ばれ、全国的な注目を浴びました。卒業後は関西学院大学へ進学。4年間でさらに技術を磨き、今春からプロサッカー選手としての道を歩み始めています。そんな山本選手に、幼い頃から続けてきたサッカーの魅力や印象的なエピソード、プロとしての目標、滋賀県への想いなどをお聞きしました。※このインタビューは8月中旬、リモート取材でおこなったものです。



ガンバ大阪への入団内定、ユニバで初の国際大会を経験

目まぐるしい2019年を経て、いよいよ今年からJリーガーに

—そして目標通り、大学4年生の6月に、ガンバ大阪への入団が内定!

目標だったプロクラブへの加入が決まった時の率直な感想は?

山本選手 正直なところを言うと、同世代の有望選手たちがもっと前からすでにプロ入りが決まっていたので、2019年の年明けから焦る気持ちの方が強かったですね。1月から4月までいろいろなチームの練習にも参加させてもらいましたが、なかなか決まらず……。そういう中で、ガンバ大阪という伝統あるクラブから声をかけていただいたことはすごく嬉しかったし、プロになれるかどうかという瀬戸際にいたので安心して部分もあったかな。4年間、頑張ってきて良かったと思いました。

—加入が決まってから、初めてユニバーシアードの日本代表として

国際大会を経験されました。山本選手にとってはどんな大会でしたか?

山本選手 僕は全日本大学選抜にはなかなか縁がなくて、最終学年になって初めてユニバーシアードの代表として選ばれたんです。初めて経験する国際大会でもありました。僕より早い時期から大学選抜を経験してきたメンバーの中でプレーするのは、単純に学ぶことがたくさんありましたね。高いレベルのフィールドに立って試合そのものからも学んだし、現場の選手やスタッフの皆さんから指摘していただいたことも多く、自分自身の通用する部分とまだまだ改善すべき点も知ることができました。日本を代表して戦う経験も初めてで、国内だけでは感じられない緊張感や重圧を味わえたことはいい経験になったと思います。これらからどういふ選手になっていくべきなのかという、指標を得られた大会でした。

—昨年までは大学でチームを引っ張る存在、現在はプロクラブのルーキーという立場に。学生時代とは異なる、プロとしての心持ちなどはありますか?

山本選手 もちろん大学時代からプロを意識したプレーを心がけてきましたが、実際に入ってみると、やはりプロは数段上のレベル。まだまだ足りないところだらけだし、スタメンでの出場もなかなかありません。でもここで腐らず、チャンスを待つって置いていって、やはりゴールに近いポジションで、自分の強みである「ゴール前での決定的な仕事」を求められていると思っています。しっかりと点を取っていかないと、プロの世界では上っていくことができないと分かっているんで、結果に対してもっと貪欲になっていこうと思っています。

—直近の目標と、長期的な展望での目標を教えてください。

1年延期となった東京オリンピックへの想いも、合わせてお願いします。

山本選手 直近では、ガンバ大阪でスタメンにしっかり定着して結果を残すことですね。特別な環境でプレーできることを感謝しながら、でも自分のペースを乱さずに、自分がやれること、やるべきことをピッチの上で表現していきます。将来的には、いつかチャンピオンズリーグに出ること。僕はずっと海外サッカーをテレビで見ながら育ってきたので、チャンピオンズリーグに対しての憧れがあるんです。あのピッチを踏みたい、あの舞台でプレーをしたい。そういう夢...という目標があります。でも自分が日々しっかり練習して、ガンバ大阪でしっかりスタメンを勝ち取ってチームに貢献していれば、日本代表と

いうステージに呼んでいただけることもあるのかな。そうなった時に、あらためて活躍できるよう準備を整えます。そのために、今は自分の成長に重点を置かないといけませんね。

ふるさと・滋賀県への想い。滋賀のアスリートキッズや

期待・応援してくれる多くの人々へのメッセージ

—大学進学以降は滋賀県を離れて生活されているそうですが、ふるさとの好きなところや、思い出の場所などがあれば教えてください。

山本選手 新型コロナウイルスの影響で練習ができなかった時期に2カ月ほど実家にいたんですけど、滋賀は距離的にそれほど遠くないですし、もとも1カ月に1回くらいは両親に顔を見せに帰っているんです。やっぱり琵琶湖を見て育ったので、琵琶湖の景色は落ち着きますね。あとは地元・野洲の雰囲気も個人的にはすごく好きなんです。都会ではないので静かだし、でも田舎過ぎるわけでもなく……。子どもの頃から見慣れた風景だから、琵琶湖と同じように落ち着くのかな。

—滋賀国スポ・障スポやオリンピックへの出場、Jリーガーなどを目指す滋賀県のアスリートに、何かアドバイスをいただけますか?

山本選手 種目や年齢にもよるとは思いますが、やはりその競技を楽しむということが一番大切かなと思います。もしかしら年を重ねていくと、楽しさを感じられなくなる時があるかもしれません。僕にもそんな時期があり、そこで「どうしてサッカーをしているんだろう」と振り返ってみると、自分自身が楽しいからという想いがありました。だからまず、競技をしっかりと楽しむことを原点に、くじけることがあっても、立ち返れるところがあれば乗り越えていけると思います。自分自身との戦いからは、逃げずに挑んでほしいですね。それからもし機会があれば、滋賀県を離れて大きな舞台で競技をしてみてもどうでしょう。若いうちにそういう経験をしておくと、視野が広がるんじゃないかと思っています。

—新たに滋賀県出身のJリーガー誕生ということで、山本選手の活躍に期待している方が多いと思います。県民の皆さんにメッセージをお願いします。

山本選手 僕は兵庫県にある大学に進学し、今は大阪のチームに所属していますが、滋賀県で生まれ育った人間なのでやはり滋賀に対しては思い入れがあります。ふるさとの皆さんが期待してくださることはとても嬉しいですし、もっと結果を残しつつ、皆さんに笑顔になっていただけるようなプレーを見せていきたいと思っていますので、ぜひ応援してください。よろしくをお願いします!

強い意志とたゆまぬ努力で、プロになる夢を叶えた山本選手。今年はJリーグの試合開催もイレギュラーな状況ではありますが、山本選手の今後の活躍に大いに期待したいと思います。みなさんもぜひご注目ください。

「GAMBA OSAKA MDP online」ガンバ大阪HPでは、ホームゲームのキックオフ24時間前からマッチレビューやイベント情報など試合観戦をより楽しくする情報を配信しています!

© GAMBA OSAKA